

〔結 果〕

実際に使用してみたが①図のものは、病気の進行にともないどうしても使用期間が短くなってしまふ。又、車椅子の背部を全部とりのぞくものは経済的に高価でとても我々の考えているものとは程遠いものとなってしまった。

いままで患者のためにと想着研究をすすめてきたが、なかなか思う様に開発がすすまず、経済的な面での負担が大きいなどして、考案するごとに問題が提起され行き止まりを感じている。しかしこれは、解決を要する問題であるため今後職種の違う人々やスタッフの協力をえて研究を継続していきたいと思っている。

⑧ PMDに適したMobile Radial Arm Supportの製作

国立療養所箱根病院

村 上 慶 郎 古 内 文 夫

私共は既に、種々の Feeder あるいは mobile arm support を筋ジストロフィー症の患者に使用して好結果を得ております。

今回は、A、W、GuiHord らの考案した Radial mobile arm support と称する Feeder を成人筋ジストロフィー症患者に使用出来るように、二、三の改良を加えたものである。

この Feeder の構造は、従来より使用されている Ball bearing feeder とは異なり、Proximal と distal の arm に分れておらず、Bracket assembly に sliding unit が付き、これを1本の鋼鉄製の四角な柱型の arm が slide して長さの調節をするようになっている。また、この arm の先端に水平方向の回転 unit があり、この中にバネがしこまれており、残存筋力により強度が調節できるようになっている。さらにもう一つの上下の角度の調節できるバネ付の回転 unit があり、この二つの unit の結合部分で上下左右の微細調節ができるようになっている。Irough は従来のもと同様ホールを有するものである。Guilborol のオリジナルの Feeder は、このバネが強く、筋ジストロフィー症には使用が困難であるため、このバネの強度を約1/2のものに取り変えた。

この Feeder の特徴は、従来 Feeder に比し車椅子の側方より外側に上肢がゆきすぎない。補助ゴムバンドが従来 Feeder には用いられていたが、その代わりにバネ付 unit を有する。調節がより微細にできる（特に x、y 方向に）。

このFeeder を成人の筋ジストロフィー症、特にF S H、クーゲルベルグ、ヴェーランダー病 Distal myopathy の患者に使用した結果では horizontalの動きが非常にスムーズであり、また、従来は前腕の動きを助けるために、補助ゴムバンドを使用していたが、バネ付unit の使用により、この必要がなくなり、機能的に改善されている。

欠点としては arm が長いために上腕の外転運動が制限されるという点であるが、これは車椅子患者の際、外側に広がりすぎないという特徴にもなっている。

このRadial mobile arm support は guiltord らの構造のままで使用すると、バネが強すぎて、筋力の弱くなった筋ジストロフィー症には使用できないものがあり、これに対して前述の如くバネの弾力を $\frac{1}{2}$ にすることにより、近位筋の非常に弱いものにも使用可能となった。

これらのことから Radial mobile arm support は症例を選ぶことにより、成人筋ジストロフィー症に非常に有用である。

9 成人筋ジストロフィー患者のADLに関する研究 (1) ADL向上用具に関する研究

国立療養所箱根病院

古内 文夫

車椅子を移動動作の手段としている筋ジストロフィー症患者（以下車椅子患者という）のADL自立の最も困難な動作は、(1)入浴の自立、(2)トイレの自立の二つである。

車椅子患者で、トイレ自立不可のもの6名を選び、その原因を調べてみると、便器と車椅子の移乗にのみ問題があるものが、全車椅子患者中4名いた。当院の洋式便器（写真1）の床高約37cm、車椅子の平均床高約42cm、その差は約5cmで車椅子から便器への移乗は問題ないが、逆に便器から車椅子への移乗が困難となっている。そこで、便器を車椅子と同じ高さにする補高便座を試作し、使用した。

この便座を試作するに当たっては以下のことに注意した。

1. 丈夫であること（体重がかかるので、少しのことでこわれぬもの）
2. 便器にしっかりと固定されること（不安定だと危険である）
3. とりつけ、とりはずしが簡単にできること（自力でとりつけ、とりはずしができることが望ましい）
4. なるべく軽いことが望ましい。

↓
検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります
↓

私共は既に、種々の Feeder あるいは modile arm support を筋ジストロフィー症の患者に使用して好結果を得ております。

今回は、A、W、GuiHord らの考案した Radial mobile arm support と称する Feeder を成人筋ジストロフィー症患者に使用出来るように、二、三の改良を加えたものである。

この Feeder の構造は、従来より使用されている Ball bearing beeder とは異なり、Proximal と distal の arm に分れておらず、Bracket assembly に sliding unit が付き、これを 1 本の鋼鉄製の四角な柱型の arm が slide して長さの調節をするようになっている。